

【学会見聞録】

第1回日本基礎老化学会市民フォーラム報告記

中川 久子

雪印メグミルク株式会社ミルクサイエンス研究所

2020年11月7日から8日にかけて第1回日本基礎老化学会市民フォーラム「老化の基礎研究が導く健康長寿社会」が開催されました。開催地は「健康寿命延伸都市・松本」。紅葉進む美しい山間部を抜け一路松本へ。

フォーラム1日目は2つのセッション「基礎老化研究の歴史と展望」と「基礎老化研究の紹介」が設けられ、本学会の始まりから現在・未来への展望について詳しく知ることが出来る又とない機会となりました。2つのセッションから基礎老化研究の歩みとともに、栄養と老化に関する知見がカロリー制限からオートファジー、アミノ酸、栄養・代謝センシングなど、より深く広く掘り下げられていることを実感し、さらに今後老化細胞除去やNAD補充など、新たな食の価値の創出に期待感が高まりました。同日懇親会でもフォーラムと同じくらい熱のこもった研究の話の伺い、濃密な1日の中で、老化研究から見た食・栄養の重要性についての認識を新たに、いくつもの「思考の種」を得ることが出来ました。

2日目は、松本市民向けに基調講演3題と特別講演4題が行われました。松本市の行政施策説明並びに前市長の講演では、市の取組みとしてJAGESの健康とくらしの調査結果を生かしながら、自己主体的に生きがいを増

やしたこと、またその結果知的能動性低下者割合を減少させることに成功したことなどお話しいただきました。後日松本市のホームページを覗いて見ると6つの健康に基づいた多種多彩なまちづくりについて解説されており、さらに理解が深まりました。同セッションでは、そのほかに長野県の老化関連研究で著名な先生方のご発表があり、松本歯科大の宇田川先生のお話の中で昭和大学歯学部と雪印乳業生物科学研究所がRANKLを発見したというNHKの当時のニュース映像を流された際、個人的に企業の研究者ももっと研究にアクティブにならないといけないとボディブローを受けた感覚に陥りました。

オンライン総会開催等の利便性は図らずもコロナ禍で格段に向上しましたが、日常業務から離れてじっくり老化研究に浸れる空間にいられることが、この上なく幸せな時間でした。大会開催にあたりご尽力くださいました世話人である国立長寿医療研究センターの丸山光生先生をはじめ、清水孝彦先生、準備にあられたスタッフの皆様、そして松本市の関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。

以上

---

連絡先：中川久子

〒350-1165 埼玉県川越市南台1-1-2

TEL：049-242-8060

FAX：049-242-8123

E-mail：hisako-nakagawa@meg-snow.com